学校番号	２１２

令和３年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	生物改訂版（実教出版）						
副教材等	アクセスノート生物（実教出版） 改訂版フォトサイエンス生物図録(数研出版編集部)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年生の生物基礎では、細胞・遺伝子・恒常性などについて学びました。生物では、生物基礎からさらに発展した内容を学びます。ただ覚えるだけではなく、それぞれの物事どうしの関連性を考えながら勉強をしてみてください。これから生きていく社会は、様々なことがより専門的になっていきますので、特に医療に関することなど、生物の授業を通して少しでも身近に感じることができれば良いと思います。

２　学習の到達目標

生物や生物現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ．関心・意欲・態度	ｂ．思考・判断・表現	ｃ．観察・実験の技能	ｄ．知識・理解
観点の趣旨	生物や生物現象に関心や探究心をもち、主体的に探求しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	生物や生物現象の中に問題を見い出し、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にもとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生命現象と物質	生体物質と細胞	○				a．様々な生物の細胞の構造や物質、エネルギーの生産・消費に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b．生命の構成する細胞の構造からエネルギーの循環について考察し、導き出した考えを表現している。 c.「生命現象と物質」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d．細胞の詳細な構造について理解し、それぞれの役割と生命現象を支えるタンパク質の知識を身につけている。また、代謝の詳しい仕組みを理解し、知識を身につけている。	学習状況 探究活動 ノート･プリント 観察・実験 定期考査
		生命現象とタンパク質		○				
		代謝			○			
		光合成				○		
		窒素同化				○		
2学期	生殖と発生	遺伝情報の発現		○			a．生物の様々な生殖方法と発生について、意欲的に探究しようとする。 b．動物の発生の過程について考察し、導き出した考えを表現している。 c.「生殖と発生」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得する d. 生物の生殖の方法と動物の発生の過程、その過程で発現する遺伝子について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート･プリント 観察・実験 定期考査
		生物の生殖				○		
		動物の発生			○			
		発生をつかさどる遺伝子	○					
3学期	生物の進化と系統	生命の起源と生物の変遷	○		○		a．生命の起源や進化、生物の系統について関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b．「生物の進化と系統」に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c．生物の進化・系統について探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得する。 d生命がどのように誕生して進化したか、そしてその進化に基づいて系統が考えられていることを理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート･プリント 観察・実験 定期考査
		進化のしくみ		○	○			
		生物の系統				○		

※ 表中の観点について　a．関心・意欲・態度　b．思考・判断・表現、
c．観察・実験の技能　d．知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは積み重ねを行う観点）について〇を付けている。